



工事タイムス

— 鐵 道 —

○建設線工事決定 鐵道省の既定計畫中本年度より新たに工事に着手すべき建設線は合計十二線であるが大體左の如く決定し近く工事請負入札を行ひ愈々起工することゝなつた（工費は本年度分）

- 一、沼田札幌間(北海道)沼田口より△工費五拾萬圓
- 一、上磯木古内間(北海道)上磯口より△工費六拾萬圓
- 一、今泉坂町間(山形縣)兩方より△工費三拾六萬圓
- 一、小梅、小淵津間(長野及び山梨縣)小淵津口より△工費四拾五萬圓
- 一、大町絲魚川間(長野及び新潟縣)大町口より△工費三拾萬圓
- 一、木更津大原間(千葉縣)大原口よりは既に工事に着手したが、更に木更津久留里間の改良工事に着手する△工費八拾萬圓
- 一、若櫻郡家間(鳥取縣)郡家口より△工費參拾萬圓
- 一、新見三次間(岡山及び廣島縣)三次口より△工費參拾萬圓
- 一、木次落合間(島根縣)木次口より△工費五拾萬圓
- 一、三原吳間(廣島縣)三原口よりは既に着工せるも更に近く吳口よりも工事に着手する△工費四拾萬圓
- 一、貴生川加茂間(滋賀縣、京都府)未定△工費調査費參萬圓

一、伊万里佐世保間(佐賀及び長崎縣)兩方より△工費參拾萬圓

○開通近き地下鐵 淺草上野間第一區一哩半の工事は殆んど竣工し来る十月十日開通に内定し開通迄にまさに二ケ年を要する譯で豫定より二ケ月程遅れる事になる開通すれば日本に於ける最初の地下鐵として非常に注目されてゐる上野から萬世橋に至る第二區間一哩一分の工事は大林組の請負で七月十日から工事に着手しだが來年一杯には完成の豫定で専ら第一區工事に苦しい經驗を有する従業者を使用し機械及材料も再用する關係から工費は全線貳百萬圓見當で車輛及諸設備費を入れても參百萬圓で出来る見込である。尙ほ第一區開通後の成績に就ては一日平均貳萬五千人と見て賃金は普通拾錢回数券は七錢位とし雜收入を合せて九拾貳參萬圓の豫定で一方支出は經費及び動力其他で廿五萬圓差引六拾七八萬圓の利益即ち建設費六百萬圓に對して優に一割一分に相當する成績を挙げると主張してゐるが果して豫想通りとなるか

○東京横濱電鐵 會社の丸子多摩川、澁谷間五哩八分は工費500萬圓を以つて八月二十六日完成開通した、之れにて澁谷と神奈川間が四十分に短縮される特種工事は澁谷代官山間約一哩の高架區間で、鐵筋コンクリートの最新式工事である。尙ほ代官山、中日黒間に570尺の隧道工事がある、東京市に接続する郊外軌道としては注目すべき工事である。

- 朝鮮鐵道局の來年度計畫 總督府國鐵十二ケ年計畫における建設は來年度からその主力を集注する譯で従つて年度割既定額においても今年度に比しほとんど倍加の壹千九百萬圓を計上されてゐる、豫定は
- 一、咸鏡線の未成線は十月中旬全線をしゆん工十一月初旬に全通を圖り同線の完成を期する
  - 一、平元線(平壤元山間裏朝鮮線)は平壤から順川間を開通せしめ引続き順川新合間の建設に着手し高原以東の實測をなす
  - 一、閔個線鮮支連絡線の買収完了となれば雄基を起點に三十マイルの建設を起工し、軌幅の改良と共に閔個鐵道全線の測量に着手する
  - 一、東海線は今年暮元山より一部起工したる部分の建設を繼續する
  - 一、慶全線(慶州、全州間南朝鮮線)は私鐵全北鐵道の買収を完了し、これが軌幅の改良に次いで慶全線としての測量に着手する

一、溝浦線は來年暮頃より實測に着手し、豫算の餘裕あれば建設工事を起す、なほ慶東線の買収協定並に京釜本線(二〇マイル)に對する百ポンドレールの改設工事も來年度における主要計畫であると

○**阪和電鐵工事** 大阪及び伯太間第一期工事は官廳手続き並に用地買収が殆んど終つたので右區間中大阪市内の高架橋を含む三マイル間の部分を大林組が九月十五日から起工しその隣接區間も十月勿々工事に着手することになつた

— 建 築 —

○**早稻田大學** の大隈總長記念大講堂は間口20間奥行25間四階建 1,200坪の鐵筋コンクリートにて九月末竣工工費100萬圓戸田組請負

○**戸山ヶ原射場** は陸軍省經理部建築課にてトンネル式にする爲め160萬圓の巨費を投じ目下工事中で來春四月完成すれば世界第一の設備

○**藤山工業圖書館** 藤山雷太氏の日本唯一の専門圖書館が九月十三日芝區白金臺町に竣工式を擧げる鐵筋コンクリート五階建の立派なもので藏書約六萬卷化學工業に關するものが多い

○**宮内省内匠寮** 工務課長北村耕造氏は九月十三日鈴木菊地兩技師と京都の來秋の大饗宴場敷地視察十月中に設計仕上げる豫定

○**東京驛** 皇族乗車口は工費拾五萬圓で大改善し來秋の御大典に準備する

○**新議院** は竣工年度を一年繰上げて昭和六年度完成とし繼續費年度割を改める由

○**刑務所の文化的改築** 司法省では全國各都市の刑務所新築移轉改築等を行ふべく第一期二、三期に分つて根本的に改善を圖ることとなり新築すべきもの大體左の如くである

△**第二期** (急速工事に取懸るべきもの)市ヶ谷、水戸、小倉、名古屋、神戸、長野

等であつて市ヶ谷刑務所は建築費用百五拾萬圓

△**第二期工事** の分としては山形、静岡、山口、松江、高知、廣島第三期同上前橋、徳島、大分(山形、静岡も移轉の豫定)

等十五刑務所に及びその他

△**目下工事中** で明後年に竣成すべきもの豊多摩小菅、府中の各刑務所である今回刑務所の改新築工事は耐震耐火のところへ

△**最新文明の施設** その全部を取入れて歐米各都市のやうに刑務所をして文明生活の一標準として

誇り得る程度のもとし採光衛生一般醫療工場などの設備を整齊せしむる方針である

○**石川縣建築研究會** で模範建築設計圖案を懸賞募集する、設計の條件は石川縣の氣候風土に適するもので百坪の田圃地に建築する延坪四十坪(五十分の一の平面、立面圖の外説明書を要す)の中流向住宅で締切は十一月十五日正午まで、賞金は一等一名五拾圓、二等一名卅圓、三等一名卅圓選外五名五圓づゝ

○**吳市魚市場** 建設費充當の市債10萬圓九月十六日內務省より許可

○**大娛樂場** 大阪の大東土地會社長小西松太郎氏は今度廿五萬圓を投じて南海沿線濱寺公園内に大娛樂場を建設すべき計畫をたて、目下大阪池田組の手で設計を急いでゐる

— 帝都復興工事 —

○**帝都復興** ①東京は震災四週年を迎へ工事進捗情況は地區割整理の施行地區六十五に對し換地面積の決定したもの六十三、内完了せるもの五、本年末迄には更に十數ヶ地區の完了豫定である。②横濱市施行地區十三に對し全部換地面積決定し區割整理を完了した地區三であるが本年中には殘餘も出来る見込である。尙移轉を要する家屋數は東京約二十萬棟横濱二萬棟で之れ等の七割三分に對しては移轉命令發令済であつて其の中六萬餘棟は移轉を完了して居る。③道路工事の進捗割合は三割三分で橋梁は最も工事進み隅田六六橋の中三橋は竣工公開され又た聖橋外多くは竣工し歩合は七割を越えんほどの完成域に達して居る。④運河工事の進捗歩合は四割五分大公園は三割五分で現状を以てすれば東京は昭和四年度、横濱は同三年度に於いて復舊工事を完成の模様である。

— 道 路 —

○**自動車道會社續出** 最近內務省に於ける自動車道路法の議が起きてるので逸早くも東京市を中心として隣縣主要市町に自動車専用の道路を設けて乗合自動車貨物の運輸及自動車の通行料徴收を目的とする會社設立を出願するものが出て東京府に左の如く提出されて居る計畫者中には單に知名人士の名を利用したるものもあり計畫杜撰なものもあり、又收支の均衡を危まるゝものもあるとのことである

△自動車専用道路株式會社發起人堀内良平、穴水要七氏等

一、高尾線淀橋南多摩郡横山村間延長二十五哩三

十鎖工費二百七十萬圓  
 二、成田線砂町千葉縣山武郡二川村間延長四十哩六十鎖、工費四百九十五萬圓  
 三、日光線 巢鴨町日光町間延長八十三哩四十鎖工費七百三十五萬圓  
 幅員廿六呎、運賃一人一哩八錢貨物一噸一哩四十錢、通行料發起人山本基三郎、小島七郎、中島守利、板倉勝憲氏等資本金五百五十萬圓  
 一、五反田横濱間幅員三間前同様専用道路を設くる事

——架 空 索 道——

○我國の架空索道 現在數およそ四百、延長は約千マイル(地方鐵道の三分の一)に達し今後ますます發達のすう勢にあるが從來これが取締は各府縣區々であつたので逓信省はこれが統一を計ることとなり九月三日逓信省令で索道事業規則を公布し十月一日より施行することになった

——橋 梁——

○大阪市 都市計畫部で工事中であつた堂島大橋は二鉸鋼拱式の新しいタイプで延長41間4尺幅12間工費56萬圓で落成九月十七日渡橋式

○新様式の吊橋 大阪市都市計劃の一部として淀川新橋の設計が大村技師の手で出来上つたが位置は橋の西詰が造幣局東詰が淀川公園で雄大な趣がある、橋の様式は主徑間が三鉸拱式で345尺兩側に鋼板桁式の徑間があり全長100間橋幅12間工費145萬圓で本年末から起工するこれ程纏つた橋は外國にもないものである

——水 道 と 水 利——

○岡山縣 御津郡福濱村より申請中の上水道敷設費に充當の8萬圓起債九月十六日內相許可

○小倉市 が大正十四年度より昭和四年度迄の繼續事業たる下水工事費に充當する36萬8千圓起債の件九月十六日內相より許可

○山形縣 飽海縣下堰普通水利組合の揚水機設置費起債の件九月十六日內務省より許可

——會 合——

○工學會大會豫定 今秋舉行せらるゝ我國の總ての工學を綜合せる工學會の聯合大會の豫定は次の如く發表された

十一月三日 (明治節)

會場 東京帝國大學大講堂

午前七時開會の辭 古市男爵

祝辭

議事

午前十一時より講演 大河内理研所長

工學各部の進歩狀況 各學會代表

午後六時懇親會 上野精養軒 會費五圓

十一月四、五兩日 十二學會の講演會

十一月六日以後 東京附近工場の見學其他

——人 の 動 き——

○橋本敬三 鐵道省工事課長の同氏は先月來東京建設事務所長を兼務中であつたが今回楠田氏の専任となつた

○楠田九郎 鐵道省熱海建設事務所長として數年間丹那トンネル工事の難關に當りし氏は今回東京建設事務所長に轉じ

○池原英治 鐵道省建設局工事課技師の同氏は歐米工事視察後の研究的蘊蓄を以つて熱海建設事務所長に轉じ丹那トンネル工事に當る事になつた

○淺間逸雄 秋田建設事務所長の同氏は長岡建設事務所長に轉

○堀越清六 長岡建設事務所の同氏は岡山建設事務所長に轉

○石本喜久治 分離派建築會主唱者の一人として彼の數寄屋橋畔の朝日新聞社屋及び日本橋の白木屋ビルを設計して少壯建築家の間に認められてをる同氏は竹中工務店設計部を辭し今回片岡安博士と俱に丸ノ内郵船ビル内に片岡石本建築事務所を經營する事を發表した

○瀧淵寛烈 鐵道省より海外出張を命ぜられたる同氏は十月二十一日横濱出帆渡米の由

○上村義夫 鐵道省より海外出張を命ぜられた同氏は十月一日横濱出帆渡米

○川口利雄 同上十月二十一日横濱出帆

○新田留次郎 朝鮮鐵道局工務課長の同氏は今回辭職された(九月十九日)

○藤井眞透 内務技師の同氏は明治神宮外苑管理評議委員に任ぜられた(九月十五日)

○折下吉延 復興局公園課長の同氏も同上

○佐野利器 東京帝大建築科教授の同博士は明治神宮外苑管理評議委員を囑託された

○小林政一 東京高等工業學校建築科長の同氏も同上

○牧彦七 東京市土木局長の同博士も同上